

平成18年度 達成度報告

平成18年度

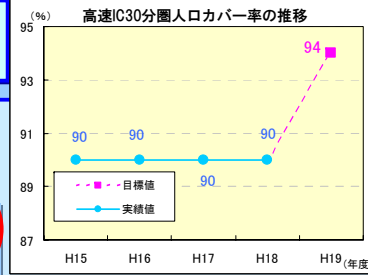
達成度【総括】

平成18年度の目標達成状況

平成18年度 目標値 **90%** ▶ 平成18年度 実績値 **90%**



●平成18年度は指標値を大きく向上に寄与する主要な道路の供用がなかったため、高速IC30分圏人口カバー率は平成17年度と変わらず90%となっています。



平成19年度 業績計画

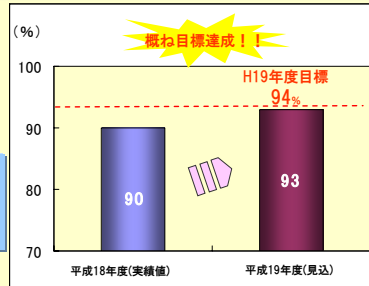
平成19年度

業績計画【総括】

平成19年度の取組み

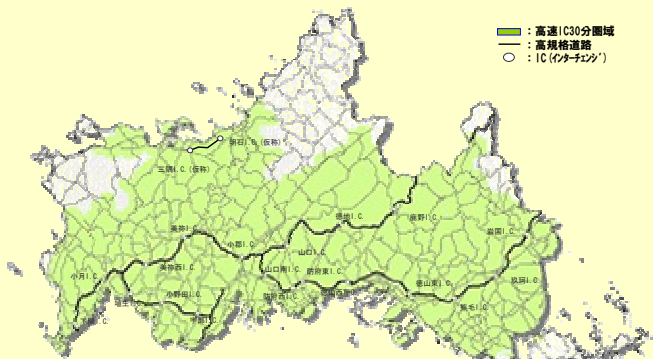
H19年度目標(H15年度設定)の概ね目標達成が見込まれます

平成18年度 実績値 **90%** ▶ 平成19年度 目標値 **94%**



- 萩・三隅道路「三隅IC～明石IC間（7.1km）」は今年度に供用予定であり、本区間供用により平成19年度目標値94%を概ね達成する見込みです。
- 山陰地方の多くの地域では、高速ICへの移動に30分以上を要し、未だ広域ネットワークの整備が不十分です。したがって、今後も引き続き山陰地方における広域道路ネットワーク整備事業を推進します。

目標値の設定



H19年度末の高速ICへの30分圏域

平成19年度 整備計画【国土交通省事業】

取組み概要

萩・三隅道路

平成19年度末 部分供用予定

- 萩・三隅道路は、長門市・萩市内の異常気象による通行規制時の通行確保と、利便性の向上・円滑な交通の確保、開発計画の推進や産業の集積による地域の活性化を目指して計画され、長門市三隅中から萩市楢に至る延長15.2kmの道路です。
- 平成19年度は橋梁・改良・舗装工事を推進し、三隅IC～明石IC間で暫定2車線の開通を目指します。また、明石IC～萩IC間については、用地買収の推進を行い、橋梁・改良工事に着手します。



TOPICS 山口県山陰初！ 高規格な道路が開通します！

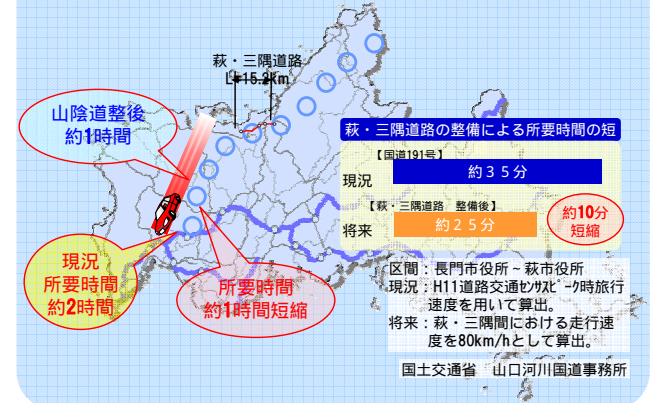
萩・三隅道路は、山口県の山陰側で開通する初めての高規格道路です



山陰道ネットワークと萩・三隅道路

- 山口県の山陰地域には、山陽側に比べて公共交通のサービス水準が低かったり、高規格な道路がないため、移動に時間がかかります。
- このような中、整備が進められている萩・三隅道路は、山口県の山陰地域で初めての高規格な道路となります。
- 高規格な道路は、幅が広く線形が良いことから走りやすく、また交差点がないなど、高速で走行することができます。この結果、時間短縮や定時性の向上、物流交通、観光移動の円滑化など、様々な効果を発揮します。
- 萩・三隅道路を含む山陰道ネットワークの形成により、大幅な時間短縮効果が期待されます。

山陰道ネットワークの整備による時間短縮（萩～下関間）



広域交流を進めるみちづくり (7) 高速IC30分圏人口カバー率

広域交流を進めるみちづくり (7) 高速IC30分圏人口カバー率